

ユング元型入門

永田円了

Archetype

人は、顔かたちや体質が、先祖の遺伝子から受け継がれているように、心の特質もまた、古代から受け継がれているという。各人がもつこの心の特質（心的エネルギー）を、心理学者ユングは元型と名づけた。元型とは、心的エネルギーの塊である。元型とは、自分を底から突き動かす無意識の原動力である。

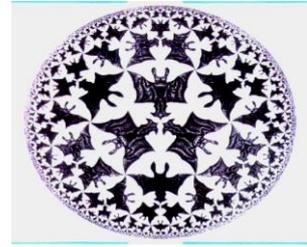


四つの基本元型

ユングは、言葉、文化の壁を越えて、万人に共通の元型が四つあると言った。「犠牲者」「売春婦（夫）」「潰しや」「子ども」の各元型である。この4つの元型に加えて、各人特有の8つの元型があり、合わせて、12の元型が1人ひとりの無意識の中に存在しているという。これら12の元型が、1人ひとりに課せられた「聖なる契約」を生きるために後押しをする護衛船団のように、スタンバイしているのである。

元型の影と光

元型を日常のコトバで表すなら、その人のもって生まれた才能、と呼ぶこともできる。錦織圭選手のようにテニスの才能に満ちあふれ、前人未踏の領域にまで到達することも可能である。ただこの「元型」には、“才能”とは違って、光の部分のみならず、影の部分が存在する。表面上は、むしろ“影”のエネルギーのほうが強大だ。



例えば元型「犠牲者」では、「私はあなたのせいで、こんなに不幸になった」、不幸の原因は全て周りにある。自分がまさにその犠牲者だ、と言う。これは、まさに元型の影に乗っ取られた状態なのである。しかし、いったんこの影の存在に気づき、影と対峙し、影から学び、光にむかったときには、「ありがとう、つらい経験のお陰で、こんなにも強くなった、感謝」、という成長を遂げることができるのである。



元型からみる、お墓参り

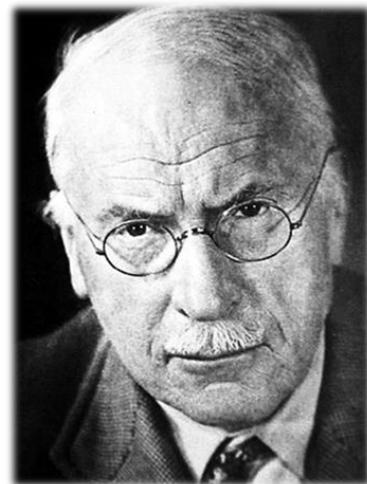
お盆がすぎ、これから秋彼岸を迎える。さてお墓参りにも元型からみると、二通りの形がある。一つは、お盆、お彼岸にはお墓参りをしないと、ハチがあたるからしなければ、という動機である。これは元型・影に支配された動機付けである。

もう一つは、墓参でご先祖さまと対面して、死との繋がりが感覚を深め、自分もいつかは死ぬ、だから今を一生懸命に生きなければ、という気づきを伴った動機付けである。死という怖い“影”としっかり向かい合い、そこから学び、自分を立ち上げる。

<事例 DVD>

王女メディア / 元型「犠牲者」影
 家庭内別居、夫と同じ空気を吸いたくない / 夜だけ朝イチより耐震強度偽装・姉齒修次一級建築士 2006年 / 元型「売春夫」影
 宮本武蔵 vs. 田口玄竜 / 元型「売春夫」光と影
 中島はるか vs. 岡田絵里香 / 元型「潰しや」影と光
 シャーリー・マクレーン / 悪者から学ぶ Actor's Studio より
 娼婦マグダラ / 罪をおかしたくない者だけが、石を...
 John Lennon / 元型「犠牲者」光を生きる
 Robin Williams / ビエロの元型 / ゴールデングローブ賞スピーチ
 大河ドラマ・秀吉、王様の元型・影に乗っ取られる
 女性ボクサー 来家恵美子 / 元型「競技者」光を生きる
 三宅義信(74歳) アスリートの元型を生きる
 錦織圭 / 全米オープン / みごと元型「競技者」光を生きる
 Tom Cruise / 役作りは元型から立ち上げる
 美空ひばり「悲しい酒」 / 元型「犠牲者」に気づいている

円了のホームページ: www.enryo.jp



心理学者 カール・ユング